

主張大会を終えて



今日発表したことを忘れずに
最優秀賞 桑木拓郎さん

足がガクガク震えるほど緊張しましたが、伝えたいことはしっかり言えたと思います。ぼくの将来の夢はまだ決まっていません。でも、今日発表したことを忘れずに、祖母のような認知症の人が、困らずに安心して暮らせる世の中になるように、一生懸命がんばります。

住みよい社会の原動力に

田川保護司会 二郎丸弘 会長



意見を発表したみなさん、この大会が終わっても一生懸命になって社会のこと、戦争と平和について、家族のこと、友だちのこと... を考えていってほしいと思います。そして、住みよい社会をつくる原動力になるために、これからもがんばってほしいと思います。

心に鋭く訴えるすばらしい主張

福智町教育委員会 徳久公博 指導主事



「福智町わたしの主張大会」も今年で2回目ですが、どの主張も中身の質が濃い、非常にハイレベルな大会でした。5分という限られた時間の中、堂々と発表したみなさんの主張は個性的で、一人一人の心に鋭く訴える本当にすばらしい出来栄でした。

自分とふるさとに誇りを持って

福智町教育委員会 桑野隆泰 教育長



それぞれ日常で体験して考えて感じたことを正々堂々と胸を張って主張していました。みなさんには、自分に誇りを持ってふるさとに誇りを持ってほしい。そして、誇れる自分、誇れるふるさとになるために、これからも力を尽くしていただきたいと思います。



戦争と平和

赤池中2年
林 里美さん

【主な内容】毎日、朝起きて学校へ行って、勉強し、友だちと遊んで、習い事に行き、夕食を食べ、風呂に入って寝る。同じ生活の繰り返しに、変化の少ない日常ですが、わたしはこれを、とても「幸せ」なことだと感じます。とても「平和」なんだと思います。世界を見ると、まだ戦争は無くなったわけではありません。今このとき、どれだけの人が苦しんでいるのでしょうか。どれだけの人が武器を持ち、戦い、死んでいるのでしょうか。わたしには予想もつきません。でも、確かに今、わたしがこのことを考えている間にも、人々は戦い、命を落としていっているのでしょうか。最後にもっと「平和」の大切さを覚えて欲しいと思います。「平和」のための活動が、もっと大きく世界で取り上げられ、平和の尊さ・意義をもっと世界中の人々が考えられるようになればいいと願っています。



毎日、人が殺されたかというニュースを目にしてうんざりします。「何も無い普通の毎日が平和」とは、いいところに目をつけたなと思います。「命の大切さをもっと考えてもらいたい」という強いメッセージが伝わりました。



仲間のすばらしさ、話し合うことの大切さをしっかり訴えられたと思います。これからもすばらしい活動を続けられると思いますが、あなたがみんなに伝えて、あなた自身もしっかりこれからはがんばってください。



「話し合う」その素晴らしさ

方城中2年
中尾恵子さん

【主な内容】わたしは、夜須高原青年自然の家で開催された「世界子ども水フォーラム・フォローアップin福阿」に参加しました。わたしは、この大会を通して「話し合い」の素晴らしさを経験し、多くのことを学ばせてもらいました。普段の生活では体験できないようなことを、全く見知らぬ人と協力して話し合ううちに、意見が高まりあっていくことに気がついたのです。わたしはこれからも学び続け「話し合い」を通してさまざまな知識を身につけ、大切な友だちをたくさん作っていきたくと思っています。来年予定されている「水フォーラム」ではまた、ひと味違った良い大会になることを期待し、また自分がそうなるよう行動したいと思っています。大切なことは「続けること」。これからもたくさんの友だちを、そして最高の思い出を作っていくためにがんばっていきます。



本当の仲間とは

金田中2年
森 優美さん

【主な内容】みなさんには仲の良い友だちがいますか。うわべだけのこの人なら絶対大丈夫」といえる友だちは、そんなにいないのではないのでしょうか。誰も相手を信用していろいろなことを打ち明けるのは勇気がいるし、信用するまでには時間がかかると思います。人は、同じ時間を一緒に過ごし、悲しみや感動を分かち合うことで、本当の仲間になっていくのではないのでしょうか。みなさん、もう一度自分の身の回りを見渡してください。世界中にいる数億人の中で、今の仲間と出会えたことは、それだけですごいことだと思います。そして、その出会いを大切にしようと思いませんか。わたしは今、同じクラスの仲間が大好きです。この仲間と出会えたことに感謝しています。あと半年しかないけれど、みんなのために何ができるか考えながら、残りの日々を大切に過ごしたいと思っています。



一番感動したのは「自分のために何ができるのかを考えるのではなく、みんなのために何ができるのかを考えていきたい」ということです。このことはこれから先、わたしたちの暮らしにとって、とても大切なことだと思います。



相手を傷つける汚い言葉は相手を汚し、自分も汚れてしまうんだという話で、なるほどと思いました。こういう言葉遣いの大切さをみなさんに伝えてくれて、本当にありがたいと思っています。



水からの伝言

上野小6年
小松美智さん

【主な内容】わたしは、水の容器に「ありがとう」と「バカ」と書いたときの影響をくらべたら「ありがとう」の方は水がきれいになって「バカ」の方は水が汚くなったという実験結果を学習しました。これは、体の70%が水でできている人間にも同じことが言えるそうです。「バカ」などの言葉は、聞いている人よりも、言っている人の体が体調が悪くなるそうです。わたしは今まで「バカ」などの言葉を気軽に口にしていました。これからは、相手にかける言葉に気をつけようと思います。なぜなら、嫌な言葉は、相手を傷つけ、自分自身を傷つけることがよく分かったからです。みなさん、夜寝るときに「今日は本当に楽しかったな」と感じ、朝起きたときには「今日も楽しい一日になるぞ」と毎日が始められるように、友だちを、そして自分自身を大切にしていきたいです。